



# 陽光

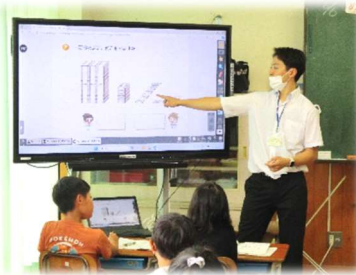
令和6年6月17日 第6号 文責 梶原 圭一



## 学校教育の楽しさを感じて

6月上旬、2つの大学から教員免許の取得を目指す5人の学生が、本校で教育実習を行いました。教諭、養護教諭、栄養教諭と目指す免許は様々でしたが、それぞれが子どもたちとの接し方や授業の進め方を一生懸命学んでいました。最初に、5人の学生に話をさせてもらいました。その際に、「短い期間ですが、本校の子どもたちとたくさん遊んだり話したりしながら、学校教育の楽しさを味わってほしい」とお願いをしました。そのことを踏まえ、配属された学年は違いましたが、一人一人が子どもたちとの関わりを大切にしながら実習期間を過ごしていると感じました。教材研究の在り方を学び、授業も行ってもらいました。授業後に感想を尋ねましたが、「こうすれば、もっと子どもたちの理解が進んだと思う」といった前向きな感想が戻ってきて、とても頼もしく思いました。

秋にも数名の学生が本校で実習を行う予定です。学校というところは、日々子どもたちの成長が感じられる素敵な場所だと思います。本校で学んだ経験や学校の素晴らしさを多くの場所で発信し、今後活躍してくれることを期待しています。



## 引き渡し訓練へのご協力 ありがとうございます



6月7日(金)に実施しました引き渡し訓練では、多くのご家庭に協力いただき、ありがとうございました。大雨や台風等、自然災害が心配される季節となりました。近年、自然災害の規模が大きくなってきていることを心配しています。学校としては、子どもたちの安全を最優先に考え、近隣の小中学校や教育委員会と連携を図りながら判断していきます。また、非常時には、保護者の方々にお子様を安全に、確実に引き渡すことを想定した備えをしておく必要があります。今回の引き渡し訓練の反省等を生かし、より安全な災害対策に取り組んでいきます。

## 自分の大切さとともに他の人の大切さを認める

本校の学校経営は、これまで同様、人権教育を根幹に据えながら様々な教育活動を進めていきます。6月は、校内人権月間と位置づけ、教育活動全体を通して、自分の大切さとともに他の人の大切さを認めることができる豊かな人権感覚を育み、いじめや差別をなくす意識・意欲・態度を養い、実践行動できる子どもたちを育てていくことを目標に取り組んでいます。今回の人権月間では、日常の人権教育の視点に立った授業づくりと合わせ、各学年で教材を使った学習を計画し、さらになかまづくりをすすめるとともに、相手の思いを分かろうとする想像力を育てることを目標にしていきます。右のQRコードを読み込んでいただく



菊陽町  
人権教育・啓発基本計画(改訂版)

と「菊陽町人権教育・啓発基本計画(概要版)」をご覧ください。この資料を元に、ご家庭でも、一人ひとりの人権を大切にする言葉や行動などについて語り合う場を作っていただければ幸いです。

### <今後の主な予定>

7月 4日(木)	菊陽町教育委員会学校訪問	7月12日(金)	授業参観・学級懇談会
7月 8日(月)	菊池教育事務所巡回訪問	7月19日(金)	前期前半終了日